

心友

第37号

身体障害者療護施設

「ニューライフ君田」

広島県三次市君田町東入君 357-1

TEL 0824-53-2080



就任あいさつ

施設長
増岡孝紀

梶原進前施設長の後任として平成21年4月1日着任いたしました。前任者のご功績があまりにも大きいため、それを引き継ぐことの重さを身にしみて感じている今日この頃です。また、私は障害者福祉については経験も知識もないため、皆様にはいろいろとご迷惑をかけると思いますが、一歩一歩階段を昇るごとく、新しい時代の生活支援のあり方を求めていきたいと考えています。

私は昭和44年から京都の龍谷大学で学びましたが、学業の傍ら、狩野永徳の襖絵「四季花鳥図」など数多くの国宝や千利休が切腹した塔頭としても有名な大徳寺聚光院で4年間坐禅を組みました。そこで学んだことは、只管打坐(しかんたぎ)ということですが。それは、坐禅をして悟りを得たいとか、心を落ち着けたいというような想いを持つことすら否定して、唯ひたすら坐禅に集中する。坐ることが重要であり、坐っているうちに道は自然にひらけるとする教えです。つまり、目標に向かいつつもそれすら忘れて唯ひたすらに努力をする、その努力の過程こそが大切だとい

うのです。

また、ある作家は、「他人の気持ちにな
って考えること」というテーマについて、次
のような意味のことを述べていました。「人
それぞれが個性や異なる人生を持つ以上、
他人の気持ちについていくら考えても最終
的にはわからない。しかし、わからないだろ
うとあきらめて最初から考えないのでなく、
他人の気持ちになろうと必死に考える。
考えれば考える程、私との間には深い心の
溝が横たわるだけだが、その考える姿勢こ
そが大切だ。」と。

素人だから言えるのかもしれませんが、
私は支援活動のあり方もそうした視点が大
切だと感じています。各々の利用者さん
にとつて生きる歓びとは何なのか、今一番
実現したいことは何なのかを、わかつたも
りにならず、あきらめず、不断に問い続け
る姿勢こそが重要だと考えています。一人
ひとりの人生に近づこうとする努力を
日々新しく続けていくこと、そのことが支
援する側の私たちにとつても生きがいにな
れば、それが理想のサービースに繋がってい
くだろうと確信しています。
今後とも、ご支援ご協力を賜りますよう、
よろしくお願ひします。

梶原前施設長 退任にあたって

毎朝7時20分に出勤し、施設の掃除
をされる。掃除が終われば利用者の方
一人ひとりへ「おはよう」と朝の挨拶
し部屋を回り梶原前施設長の一目がス
タートする。



振り返つて見ると、昭和61年より
法人の設立認可事務並びに老人ホームの建設準備に携われ、平成1年より特別養

護老人ホーム松伯園の施設長に就任、
就任後は老人関係の数々の事業の展開
を回り、そして平成6年7月より現在の
身体障害者療護施設ニューライフ君
田の施設長に就任され、障害者関係の
あらゆる事業を展開（療護通所・通所
授産・障害者の生活相談事業・就労継
続支援A型・共同生活介護・居宅介護

等）し、障害者の地域の拠点の施設として、そしてノーマライゼーションの理念に基づき取り組んで来られました
共同生活介護施設の第二期工事、新
体系へ向けた新しい事業体系の選択等
これから取り組んでいこうとする中で
平成20年3月体調不良を訴えられ長期
の休養を取られ、自宅療養されており
ましたが、今年1月の理事会にて3月
末をもって現職を退任するとの表明を
されました。



23年間に渡り、梶原前施設長が福祉会にもたらされた功績は多大なものがあり、地域に對しても

大きな貢献をされました。
長い間本当にありがとうございます。
感謝の気持ちで一杯です。

家族会便り

「出会い」

熊谷明美

お金で買えないものは、目で見えない大切なものもあります。

「愛情」「おもいやり」「思い出」等々。その中でも私は「出会い」に最も神秘性を感じます。

人は生まれて、死ぬまでの間いったい何人の人に出会うのでしょうか。

街や道ですれ違うだけの人。地域の人。学校の先生。友人。職場の人。

中でも家族との出会いは運命的だと思います。あの時もしあの場所へ行っていなければ出会えなかった人、その人が後々の自分の人生や考え方を変えることもあります。

それがよいにしろ悪いにしろ自分にとって必要だから出会ったのだと、私は解釈しています。

人は人に支えられて生きています。人がいることで自分の立ち位置を知ることできます。

私のまわりにはいつもいいタイミングでいい人が現れて「人に恵まれている」とつくづく感じています。

そして人にとっての自分もそんなふ

うに思ってもらえる存在になれたならどんなに幸せでしょうか？

その気持ちこそ私にとってお金で買えない大切なものです。出会えた沢山の人たちに感謝しています。

—いつも—



新しいリハビリの先生が 来られます

非常勤理学療法士 山下祐助

4月より毎週木曜日に非常勤として働かせていただいております山下祐助です。先日30歳手前に間違われていました。が、ちなみにまだ22歳です(笑)。

この春に大学を卒業し、そのまま大学院に進学しています。3月に理学療法士の国家試験に合格し、今年が理学療法士1年日です。

前任の山目先生よりご紹介いただき、貴施設で働く機会をいただきました。もうすぐ2ヶ月が過ぎようとしています。わからないこともまだまだたくさん山積みで、毎日勉強の日々を送っています。

週に1度のため、接する時間は少ないかと思いますが、気軽にお声をかけていただければ嬉しいです。僕からもどんだんお声をかけさせていただきます。利用者の皆さんやスタッフの方々とコミュニケーションをどんどんとっていきたく思っています。

少しでも利用者の方々の役に立てるよう頑張っていこうと思えますのでどうぞよろしくお願いいたします。

お花見

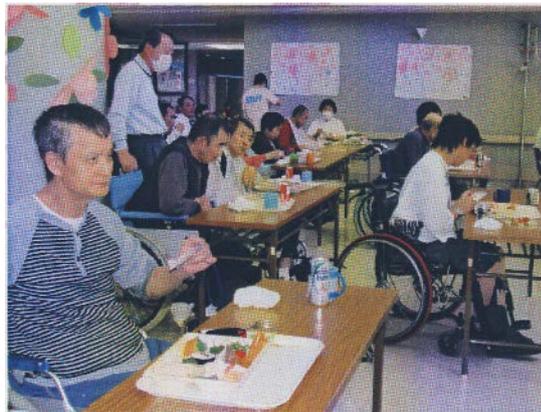
4月18日、晴天に恵まれ春恒例の花見会が開催されました。

今回から各部署ごとの開催となり、例年よりは小規模となりましたが、より密な花見会となりました。



会長の開会あいさつ

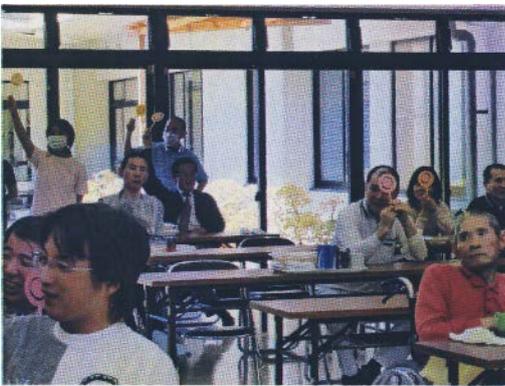
メインの桜はというと、今年はいつもより咲くのが早く、少し寂しいかと思いましたが、春の花の仲間のつじが助っ人に来てくれて、すてきな春の訪れを感じる事が出来たと思います。



お弁当にも花が咲く

そして、花見弁当を味わいながらのビンゴゲーム。
たぐさんの数字が当たるとなにかなかりーちやビンゴにならなかつたり、数字さえもあまり当たらなかつたりと、そんな事もありましたが、最後には怒涛の追い上げ？のごとく皆さんビンゴされていました。

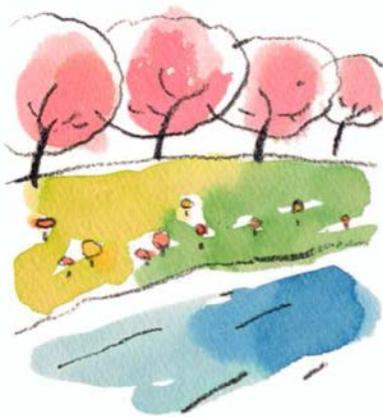
○×クイズでは、みなさんが暮らしている君田町の事から、こよなく県民から愛されている広島カープの事まで色々な問題が出されていました。



○×ゲーム みんな真剣です



「ビンゴ」になかなかならないね



ほろ酔いで熱唱!

カラオケでは、利用者のみなさんや家族会のみなさん、ご自慢の美声をそれぞれ披露してくださいました。

さて、今回の花見会、いかがでしたでしょうか。たくさん家族会のみなさまに参加していただき、春を感じていただく事が少しでもできたなら良かったと思います。では、来年は満開の桜のもとで、みなさまと春を迎える事が出来るのを楽しみにしています。



熊谷様の横笛にうっとり

作業所より

今年度より花見会を各事業所(入所・通所・君田作業所)で行う事になりました。

君田作業所では四月三日に、午前中は作業を行い、午後より君田町子供遊園地で花見会を行いました。

桜の木はまだ三分咲きだったけれど、天候にめぐまれて少し暑い中で弁当をいただきました。

利用者の中や職員と一緒に話をしたり、歌を歌ったりして普段見せない表情をされました。

利用者の中では、子供遊園を散策をしたりしていました。約二時間を有意義に過ごしました。

帰りの送迎中、とっても楽しい花見でしたと言われていました。

花見を平日に行ったこともあり、ご家族も一組の参加でした。





通所では4月11日にお花見を開催しました。

心配していたお天気もよく、日頃はなかなか交流のできない家族の方も一緒にワイワイ、賑やかな時間をすごせました。



肉は柔らかく、ホタテやえびなど盛りだくさんあり、心も体も満足していただけたのでは?!と思います。

次回も多数のご参加をお待ちしています。

まだかしら?



さあ食べるわよ～



バーベキューを
楽しみました

かわいく写してね～



おなかすいたヨ～
早く食べようヨ～



これはもういいかしら?

施設の庭の
桜もちょうど満開!



ふじの回廊 目もあざやかに



天気も良く、おだやかな一日



山菜弁当 おいしいヨ



ふじ棚の下で ハイ・ポーズ



薔薇の下で 香りも満開♪

4月より今年度前期の社活が始まりました。
昼食ドライブやシヨッピング等あり、季節を楽しんでいます。
さっそく世羅ふじ園や湧永庭園に行ってきました。

プ
チ
自
慢

さて、今回から始まった、プチ自慢コーナー。ここでは、さらっと自慢できる事を何でも発表するコーナーです。

その記念すべき第一回目のプチ自慢を披露してくれるのは「今井治夫」さんです。今井さんはニューライフ入所施設の庭や畑でたくさんのお花を育てたり、自分で耕して野菜を作っています。

今は、春になったので、最近でいえはイチゴを届けて下さいました。夏になったら何が届くのか、今からとても楽しみです。

今井さんからの一言

「庭に余裕があったので、何か育ててみようと思ったのが始まり。今は、緑にかかわる手仕事が好きだから」との事でした。たまに、緑が好きすぎて森に近づきすぎな事もありますが、これからも四季を伝える伝道師として、元気で行きましようね。



プテナーズ



「マスク」

現在新型インフルエンザが流行しており、マスクが手に入らない状況になっています。そこで、マスクに関するQ&Aです。

【Q】マスクはどのくらいの期間使用できるのですか？

マスクを長時間使用していると雑菌が繁殖します。吐息によりマスクが湿ってきたり、マスクからニオイを感じたら、お取り換えください。使い捨ての不織布タイプの場合は一日一枚が目安です。ガーゼタイプは洗濯することで再利用できますが、洗濯の際は、ガーゼの繊維がほつれる恐れがあるので、やさしく手洗いをし、漂白剤などは使わないでください。

【Q】マスクにはカゼ用と花粉用があります。が兼用はできますか？

カゼ用マスクと花粉用マスクの最も大きな違いはカップ部のフィルター性能です。20ミクロンの花粉粒子に対し、ウイルス単体の大きさは0.1〜0.3ミクロン。つまり花粉用マスクと比較して、ウイルスの侵入や飛沫防止を考慮したカゼ用マスクは、より

高いバリア性を持っています。逆に薄くて通気性に優れる花粉用マスクは、付け心地の良さが魅力になっています。本来ならば、用途に合わせた使い分けをおすすめしますが、あえて兼用するのであればカゼ用マスクでしょう。

福祉機器寄贈

読売新聞大阪本社 様より

車いす一台

三月に「名士名流作品展」チャリティの収益金をもって、御寄贈いただきました。

東洋羽毛工業株式会社 様より

寄付金三万二千二百二十円

パーソナルコンピュータ購入の補助金として頂きました。

日常生活に欠かせない福祉機器への御寄贈、御寄付を頂きましたこと、紙面にて厚くお礼申しあげます。たいせつに活用させていただきます。

温かいお心を

ありがとうございます

N T T O B 会 様

星野 いち江 様

菊地 実 様

読売新聞大阪本社 様

東洋羽毛工業株式会社 様

編集後記

今年の夏は蚊帳を吊ろうと思いついたら探しています。古い我が家の物置は、まるで地層のように奥から年代順に物が押し込まれ、思うように見つかりません。子ども時代の着せ替え人形、超合金ロボット等が見つかり、懐かしんでは搜索の手が止まります。もうすぐ夏がやってきましたが果たして蚊帳は見つかるのでしょうか？気分はすでに涼風の夏の夜なのにすが・・・。